

平成25年度 新規事業候補箇所
計画段階評価結果

平成25年4月23日

国土交通省 東北地方整備局・北陸地方整備局

1. 新潟・山形県境地域の課題

① 通行止め時には広域迂回が発生

○災害等の通行規制が年平均で約13回、計206時間発生



図1 法面崩壊(鶴岡市小岩川地区)



図2 国道7号の通行規制回数・時間(年平均)

② 交通事故の多発

○交通事故の多発箇所(100件/億台キロ以上)が6箇所存在
 ○特に冬期は積雪等により道路状況が悪化し、登坂不能や交通事故が発生



図3 冬期の交通事故(村上市大須戸)

③ 第三次救急医療施設への速達性

○第三次救急医療施設に60分まで到達できない地域が広く分布
 (圏域外人口約1.3万人)



図4 当該地域の第三次救急医療施設60分圏域

④ 広域的な物流経路として機能が低い

○日本海側の高速道路のネットワークは、太平洋側の代替ルートとして機能が低い
 ○青森～大阪間の最短距離は日本海側ルートであるが、時間的優位性がない
 (日本海側廻り: 1,050km, 14.5時間 ⇄ 太平洋側廻り: 1,240km, 14.0時間)

⑤ 観光客数が減少傾向

○県外からの観光客数は約1割減少(約25万人(H17)→約22万人(H21))
 出典: 観光動態調査(村上市、鶴岡市)

2. 原因分析

① 代替路がない 脆弱な道路ネットワーク

○当該地域は、国道7号が、唯一の幹線道路であり、災害等で通行止めが発生すると広域的な迂回が必要

② 道路幾何構造の不良

○当該地域の国道7号は、急カーブが11箇所、急な坂が21箇所と多く存在

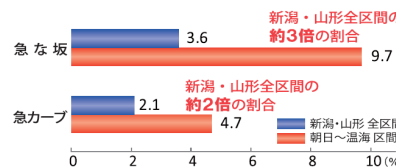


図6 国道7号の急な坂・急カーブの割合

③ 大型車の交通量が多い

○当該地域は、大型車が通過できる幹線道路は国道7号だけであり、大型車の交通量が多い(大型車混入率33%)

④ 速達性の確保ができていない

○高次医療施設のカバー圏や観光圏域内外の移動範囲の拡大に支障がある
 ○北東北～関西方面の移動について日本海側廻りは高速道路網が不十分であり、太平洋側廻りより時間を要する

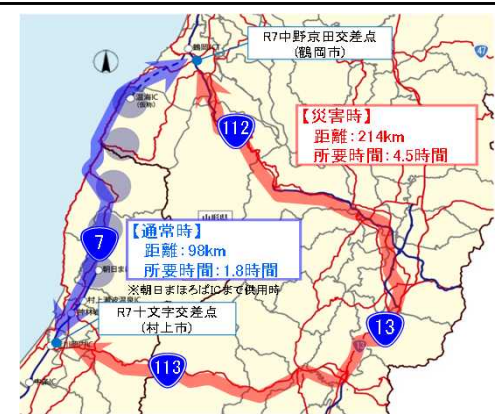


図5 広域迂回状況

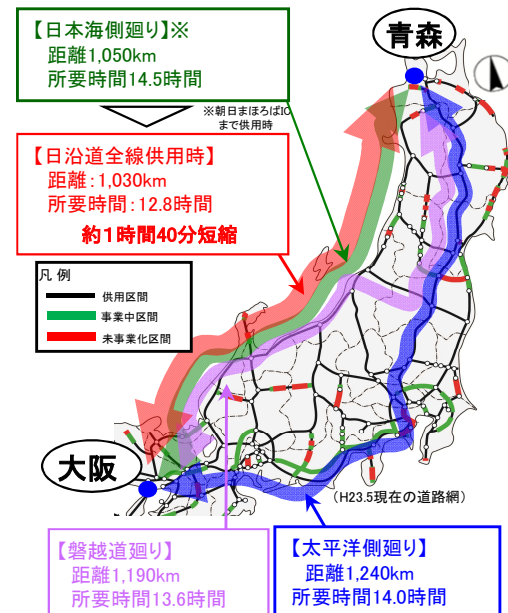


図7 高規格幹線道路網図

3. 政策目標

- ① リダンダンシーの確保
- ② 日常生活の安全性向上
- ③ 『いのちをつなぐ道』の機能強化
- ④ 最短時間で結ぶ災害に強い物流経路の確保
- ⑤ 観光振興の促進

一般国道7号(日本海沿岸東北自動車道) 朝日温海道路に係る計画段階評価

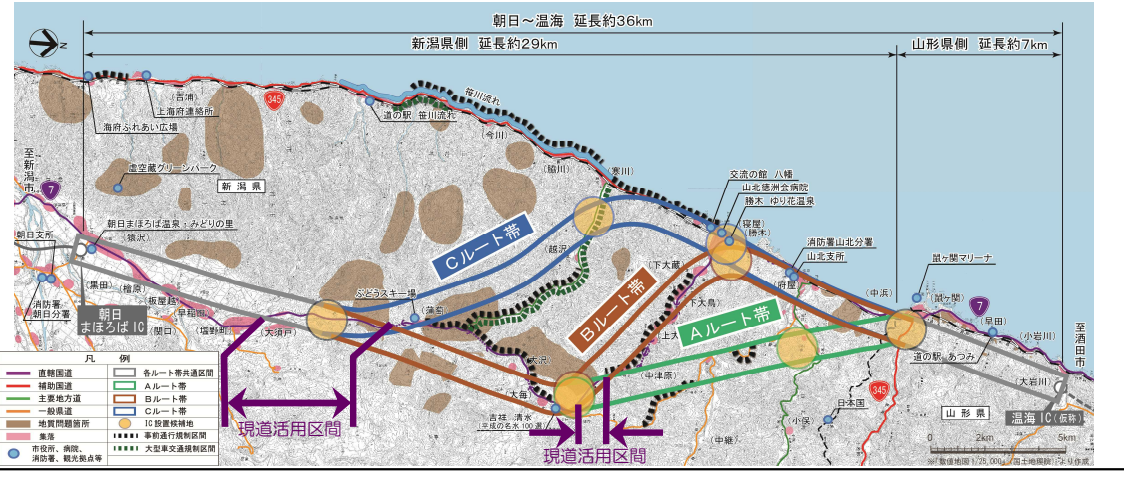
4. 対策案の検討

評価項目	全線高速道路整備案			現道活用案
	Aルート帯案 ・ルート延長が短くなるように配慮したルート帯案 ・約39km	Bルート帯案 ・国道7号とのスムーズな接続に配慮したルート帯案 ・約41km	Cルート帯案 ・笹川流れへのアクセスに配慮したルート帯案 ・約41km	(A~Cルート帯案) ・一部区間で現在の道路を活用する案 ・約39~41km
災害時の適応性	◎◎	◎	◎	△
交通事故の削減 (交通事故件数予測)	◎△	◎	○	△
朝日まほろばIC~温海IC (仮称)間の所要時間	◎◎	◎	◎	○
山北徳洲会病院~県立 新発田病院の所要時間	—	○	◎	—
最寄りIC~笹川流れ への所要時間	—	△	○	◎
インターチェンジの利便性 (国道7号との迂回路としての互換性)	—	△	◎	△
自然環境	—	○	◎	○
沿道の環境	◎	◎		
施工性	—	△	◎	△
整備効果の発現	◎◎	◎◎	◎△	◎
事業費	○◎	◎	△	◎
地域意見聴取結果 (地域住民等)	2,995件(約77%)の方が望ましいと回答 1,331件(約33%)の方が望ましいと回答			384件(約10%)の方が望ましいと回答
地域意見聴取結果 (企業・団体等)	123社(約61%)の企業が望ましいと回答 48社(約26%)の企業が望ましいと回答			22社(約11%)の方が望ましいと回答
		1,812件(約45%)の方が望ましいと回答	560件(約14%)の方が望ましいと回答	
		92社(約49%)の企業が望ましいと回答	21社(約11%)の企業が望ましいと回答	

※◎改善・満足している ○改善・満足しているが他案に比べやや劣る △改善・満足しているが、他案に比べ劣る

※着色箇所:政策目標

図8 朝日~新潟・山形県境における対策案検討



- 対応方針:
1. Bルート帯案とする。
 2. 全線高速道路整備案とする。
 3. その他
今後実施する具体の道路構造等の検討に際し、事故や災害時の耐災性・利便性向上、避難場所としての防災機能、地域経済の活性化等の観点から、中央分離帯の設置や追越車線、災害等を考慮した幅員の確保、簡易な形式の連結位置の追加、休憩施設の整備等について、別途考慮する。

- (参考)当該事業の経緯等
- 都市計画決定等の状況
- H24.12 都市計画決定 温海都市計画道路 鼠ヶ関温海線(県境~あつみ温泉IC)
 - H25.1 都市計画決定 村上市計画道路 朝日山北幹線道路(朝日まほろばIC~県境)
- 地域の要望等
- H25.1 山形県知事が国土交通大臣に平成25年度新規事業化の要望
 - H25.1 新潟・山形・秋田の3県知事が国土交通大臣に平成25年度新規事業化の要望
 - H25.2 東北日本海沿岸市町村議会協議会が国土交通省政務3役に平成25年度新規事業化の要望
 - H25.3 庄内開発協議会(鶴岡市長・酒田市長等)が国土交通大臣に平成25年度新規事業化の要望
 - H25.3 村上市長・鶴岡市長が国土交通大臣に平成25年度新規事業化の要望
 - H25.3 新潟県知事が国土交通副大臣に平成25年度新規事業化の要望
 - H25.3 山形・秋田の両県知事が国土交通大臣に平成25年度新規事業化の要望